

## 20201採石業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	149	224	224	162	224	労働者 規模
1	2017	11	11～ 12	採石場内で削孔機始動の為、削孔機へ点火していたところ、削孔機が急に倒れて来て、左足脛へ倒れ掛かり、避けきれず負傷した。	68	7	149	1	～	9			1 ～ 9
2	2017	11	14～ 15	事業所内の碎石場における、碎石プラントのベルトに絡まった泥を手作業で除去していたところ、誤ってプラントに付いている機械の尖鋭部分に手を引っ掛けてしまい、右手第一指の付け根部分を深く切った。	74	7	224	1	～	9			1 ～ 9
3	2017	11	7～8	当社碎石工場において、碎石プラントを稼働するための準備をしていたところ、ベルトコンベアに衣服が掛かり左腕が巻き込まれ、左腕を負傷した。	46	7	224	30	～	49			30 ～ 49
4	2017	10	16～ 17	一次プラントの運転を停止して、一次クラッシャーの鬼歯付近の清掃をしていたところ、プレートフィーダーにひっかかっていた石がころげ落ち足にあたり、クラッシャーの中に頭から転落した。	54	1	162	10	～	29			10 ～ 29
5	2017	10	10～ 11	碎石総合プラントの0～40mm製品用ベルトコンベアの積載側で被災者が先週取り替えたベルトの点検をするため1人でコンベアを稼働してアジャスターでベルトを調整して試運転した後にコンベアを稼働させたままの状態先日溶接した箇所を目視で点検しようとして回転部に近づいて巻きこまれたと思われる。同僚社員が発見した時は右腕が切断されて左腕の衣服が回転ドラムの	48	7	224	1	～	9			1 ～ 9

				シャフトに巻きこまれた状態で意識が無く救出後搬送された病院で死亡が確認された。				
6	2017	10	7~8	碎石場にて、重機の走行用ベルトが外れていたため、修理をしていた。走行用ベルト単体でもかなりの重量があるので、別の重機のバケットの爪の部分で走行用ベルト及び作業で使用するワイヤーロープを引っかけて旋回・移動していたところ、ワイヤーロープが落ちたので、被災者が拾おうと重機に近づいてしまった。重機運転手は運転席から被災者が見えたため、旋回を止めたところ、停止する衝撃でバケットから走行用ベルトが外れ落下し、被災者の頭部を直撃した。	61	4	142	10 ~ 29
7	2017	10	11~ 12	?石場内で県知事指導に基づいた樹木及びツタ類の植栽工事を行った。緑化作業後の状況を点検整備及び管理を行うため見廻っている途中、会社付近で誤って転倒し頭部打撲で死亡した。	45	2	711	1 ~ 9
8	2017	10	8~9	被災者は場内製品拔出ホッパー建屋内にて点検作業をしていた。そこに製品を抜き取り、積込をするためにダンプがバックにて進入してきた。ダンプ運転手は後方を確認しながら進入してきたが、被災者には気が付かなく、また、被災者もダンプの進入に気が付かず、後方より巻き込まれたと思われる。プラントは稼働中であり、機械音が大きい状況だった。	47	7	221	10 ~ 29
9	2017	9	10~ 11	採石場で、運搬に使う通路を整備している時に、道路が下り坂で、路面のゆるみによりブレーキ動作でタイヤがロックをし、それに伴って車体がはずみ、オペレーターがゆすられ腰を打撲して痛めた。	56	6	221	10 ~ 29
10	2017	9	16~ 17	当社にて、ダンプのベッセルを溶接するため脚立とハシゴを使用して高さ約2mの場所で作業中、突然ベッセルが倒れ、作業中の社員が脚立から転落する。右足首を骨折、全治2ヶ月と診断される。	35	1	371	1 ~ 9
				碎石プラントで、コンベアベルトの修理のためモーターカバーを				1

11	2017	8	9～ 10	外す作業をしていたとき、握っていた工具が滑り、モーターを置いてある台座のH鋼で右胸を強打した。	35	3	521	～ 9
12	2017	8	8～9	プラントのコンクリート工場にて、竹ぼうきで掃除中、後ろから小型ユンボのバケットが背中に当たった。	58	6	141	10 ～ 29
13	2017	8	9～ 10	当事業所敷地内にて、採石場で破碎機の内側上部の部品（長さ30cm、約4kg、鋳銅製）と、下部の部品（外側から）の交換作業を3人で行っていた。上部の部品をバーナーで切断してネジを外そうとしたが、錆ついて外れず、ネジ内に鉄棒を入れて叩いていた。その際、落下に備え、アルミバケツを機械の隙間に軽く固定し、左手で取っ手を掴んでいたときに、突然部品が外れてアルミバケツに入った拍子に重さに耐えられず、手から滑ってしまい、アルミバケツごと落とした。それが足元（機械底から高さ50cm程）に落下した。アルミバケツから部品が飛び出し、下部の部品の交換をするためにしゃがんで作業していた被災者の右眉辺りに部品が当たり負傷した。	60	4	162	1 ～ 9
14	2017	8	16～ 17	土砂運搬終了後、翌日は碎石（中詰石）の運搬予定だったので、荷台に付いた土砂を取り除こうとダンプの荷台に登ろうとし、ダンプのサイドバンパー1段目に左足を掛けた時にバランスを崩して、転落し負傷した。	34	1	221	1 ～ 9
15	2017	8	8～9	被災者は、当日、当社採石場内においた、ベルトコンベアの修理作業中、テールプーリーのベアリングが破損し、ベアリングを交換のため受け具のボルトを切断していた処、受け具が突然右に倒れた際、被災者の右膝付近に当たり負傷したものである。	50	5	224	1 ～ 9
16	2017	7	9～10	一般道において、給水ポンプを倉庫に返却中重機の修理を依頼していた業社が目に入り会社に戻るため迂回しようとした時、原因不明で意識が朦朧としてしまい運転操作を誤りガードレールに衝	62	17	231	1 ～

				突し、左足を挟まれ右足を切り衝突の反動で押し上げてきたハンドルで顔面を打ち負傷したもの。				9
17	2017	7	16~17	碎石場の2次の作業場でベルトコンベヤのこぼれ止め（スカートゴム）加工のため右手にカッターナイフを持って縦37cm×横145cmのゴムの真ん中に縦3cm×横12cmの穴を開ける作業中に手を滑らせて左手首切創・動脈損傷した。	52	8	364	10 ~ 29
18	2017	7	14~15	生産稼働中の碎石プラントを巡回中に、ベルトコンベアテール部の堆積物を乗り越えようとしたところ、足が滑り、体を支えようとして、とっさに出した右手をベルトコンベアとキャリアローラーの間に巻き込まれ、罹災した。	63	7	224	10 ~ 29
19	2017	6	12~13	採石場で昼の休憩時、パワーショベル（CAT3458）の操縦室に置いていた弁当を取りに行き、車体のキャタピラ（高さ110cm）に上がり操縦室に入ろうとしたところ、誤って背中から転落した。意識はあったが歩行困難な状態だったので、対岸まで運び救急車で病院に搬送した。	69	1	141	1 ~ 9
20	2017	6	15~16	碎石採取場において、被災者の運転するダンプトラックが、採取場から原石を積載して運搬経路に従って碎石プラントへ運行する途中、運搬経路右側の転落防止の土堤を乗り越えて前進したため窪みに脱輪し、さらに前進してバリケードとロープを乗り越え、バランスを崩してそのまま右側に傾きながら、15m下の小段道に転落し、運転席（左ハンドル）を上にし、最終的には真横の状態 で止まった。	57	1	221	10 ~ 29
21	2017	6	12~13	重機に給油をしようとしている際、右手で手すりを掴み、左手で給油のホースを受け取ろうとした時、雨のため掴んだ右手が滑り、重機のステップ（高さ1m）から転落した。	52	1	142	10 ~ 29
22	2017	6	16~17	事業所構内の脱水ケーキ捨て場付近にて、ホイールローダーで脱水ケーキを運搬中に、40cm位の大塊に右前輪タイヤが乗り上げ、ホイールローダーがバランスを崩し、ホイールローダーが過度	60	3	711	30 ~

				に揺れてしまい、被害者が大きく揺らされ腰を痛めてしまった。				49
23	2017	6	13～ 14	砕石工場で、積み込み用重機（ホイールローダー）から降車する際、着地時に足を挫き骨折した。	63	1	141	50 ～ 99
24	2017	5	11～ 12	砕石製造設備の点検パトロールを単独で行ない、雨天であったため足を滑らせ、コンベア下部駆動部に接触し、回転体による圧力によって右腕肘部を脱臼及び骨折した。	21	7	121	30 ～ 49
25	2017	5	11～ 12	砕石をホッパーへ投入した後、ホッパーをシートで覆う作業中、雨の日で滑り易いこともあり、網の間に左足を落して負傷した。	47	9	417	10 ～ 29
26	2017	5	13～ 14	砕石プラントの原料ホッパーにて小積みになっていた原料を押し込んでいる時に、ホッパー内の鉄の格子に段差がついていたのを知らずにタイヤショベルのバケット部分の先端が段差に激突してしまい、左手でハンドル操作をしていたのでその衝撃で左肩が後方に持っていかれて肩痛になった。	59	19	225	30 ～ 49
27	2017	5	15～ 16	砕石場で石を切り出すため火薬で爆破の際、バックホーで作業している被災者に避難の合図をし、退避を確認後に発破に点火実施した。災害発生時は、バックホーに乗ってバケットでキャビンを守っていたが、発破時の飛び石（直径約15cm位の岩石）がバックホーのフロントガラスを突き破り、乗っていた被災者の腹部を直撃し、腹部内大量出血によりショック死した。	57	4	511	1 ～ 9
28	2017	5	9～ 10	原石投入ホッパー内でクラッシャー内部に詰まった原石を取り除く作業中に、ホッパー内から出ようとした時に手摺りがあったが掴めず、体のバランスを崩し、ホッパー横から約3m下のコンクリートの床面に背中から墜落した。	57	1	162	1 ～ 9
29	2017	4	17～ 18	現場休憩所横に4tユニックを停車させ、荷台上で積んでいた道具類を下ろして作業を終え、荷台から降りようとした際にバランス	62	1	221	10 ～

				を崩し、うつ伏せ状態で地面へ落ちた。				29
30	2017	4	14~ 15	道路の道路表面に敷き込んでいた原石ズリ（敷き込み厚さ4m）を回収する業務中、法肩に履帯が平行になるように停車し、ダンプトラック（CAT777）への積み込み作業を開始し、2台目のダンプトラック（CAT777）に積み込みを行うため旋回をしている途中で、バックホーが停止していた法肩が崩れ、約9m下のベンチに転落・横転した。	44	1	141	30 ~ 49
31	2017	4	15~ 16	当社採石場にて、ジェットバーナーを使用して岩石の切断作業を行っていた際、割れた岩石の破片が飛んで来て顔面に当たった。	24	4	711	1 ~ 9
32	2017	4	14~ 15	碎石場のプラント工場で監視作業をしている時、碎石がモーターとベルトコンベアの間で挟まり、取り除こうとしたときに右腕を挟まれた。	62	7	224	1 ~ 9
33	2017	3	15~16	採取場内にて、岩石の小割作業を行っていた際、岩石の小割を行い、次の岩石の小割作業に取り掛かったとき、先に小割をした岩石が倒れてきて、足に当たり受傷した。	33	5	711	1 ~ 9
34	2017	3	11~12	工場内250mレベルで、ベンチ幅4mの通路上を他のパワーショベルのキャタピラー取付作業の応援のため、パワーショベルにて移動中、ズレ石により2m程度盛り上がった部分を乗り越えて下る途中で、パワーショベルがバランスを崩し、進行方向左の崖側に転倒し、崖の途中でとまった。その際に腰椎圧迫骨折および打撲、打ち身を負った。	55	1	142	10 ~ 29
35	2017	2	7~8	運転中の碎石プラントを巡回中に、ベルトコンベアのキャリアローラーが止まっているのを発見した。これを復旧回転させる作業中に足元がふらつき、咄嗟に出した左手を、ベルトコンベアと、隣で回転中のキャリアローラーに巻き込まれ、左母指基節部を粉碎骨折した。	51	7	224	10 ~ 29
				自家用給油所内において、計量機の前で軽油の残量を調べようと				

36	2017	2	16~17	<p>している時、給油の為にバックしてきた大型ダンプが後方の安全確認を怠り、又被害者が給油の忙しい時間帯に好ましくない服装で作業に従事したために視界が狭まり、バックブザーも聞き取れず退避行動が出来ないまま左後ろタイヤに挟まれた。会社では安全の為の指導を怠った。</p>	60	7	221	10 ~ 29
37	2017	1	9~10	<p>事故現場から60メートル程度離れた場所で除雪作業をしていた被災労働者が、採石場の上で土手を作る作業をしていた油圧ショベルに、何らかの理由で接近し（被災労働者死亡の為不明）オペレーターがこれに気付かず、油圧ショベルを走行させ被災労働者を轢いてしまった。</p>	60	7	142	1 ~ 9
38	2016	11	10~11	<p>溜まった水を排出する作業中、2メートル程度の高さから吊り下げていた水中ポンプのロープを解いて移動させようとしたところ、足を踏み外し足場の鋼材の角にあたり左足太ももを裂傷した。</p>	54	8	411	50 ~ 99
39	2016	9	14~15	<p>スクリーコンベアの外側を叩き粉塵の固まりを解す作業中、螺旋状のスクリーコンベアとU字型ショート部の間に、回転中に左手を入れた。手袋が引っ張られ外壁部と内外スクリーの羽に左手を挟まれ引き込まれない様に手を抜いたが手のひらを負傷した。</p>	56	7	224	10 ~ 29
40	2016	8	16~17	<p>砕石1次プラントでベルトコンベアの上に内側に落ちた石をスコップで取ろうとした時に、スコップと石に右手を挟まれ中指を負傷。この時、スコップがコンベア上ではねて左手環指を負傷した。</p>	49	7	224	10 ~ 29
41	2016	8	14~15	<p>砕石場内で、20tダンプで砕石を運搬作業していた所、作業手袋が油で汚れていた為、キャビン内で「油おとし」スプレーをかけた。1時間後に室内にガスがないと確信してタバコに火を点けた所、爆発し顔面を火傷した。</p>	75	11	519	1 ~ 9
				<p>クラッシャーの石の大きさを調整するプレートを交換する作業を</p>				

42	2016	8	8～9	<p>していた時、油圧のジャッキで少し広げてプレートを抜く時、1枚目をぬいて、2枚目をぬこうとした時、ジャッキのバルブの締めつけがゆるかった為、バルブが戻りその反動で締めつけ金具が戻り指が挟まれた。</p>	34	7	169	10 ～ 29
43	2016	7	11～12	<p>小割場にて削岩機で石に穴をあけ、矢を差し込み玄能でたたいていた時に、本人の不注意で指をはさんでしまい、骨折した。</p>	38	7	364	10 ～ 29
44	2016	7	13～14	<p>工場で切削機械の上に置いてある石を、別の場所に移動させようと石を持ち上げた時に、腰を痛めた。</p>	27	19	523	1 ～ 9
45	2016	7	18～19	<p>加工碎石をきれいにして製品にする作業中、従業員2人で1人は機械自体の修理、もう1人は離れた電気設備で修理中だった。被災者はバケツの確認の為、足を踏み入れて自重で確認、もう1人は離れた場所で掛け声確認をせず、バケツの動作確認の為、電源をONにしたところ、被災者はバケツと鉄骨の間に右足が挟まれ負傷した。</p>	54	7	229	10 ～ 29
46	2016	7	15～16	<p>プラント工場内で、生コン製造に必要な骨材を補充するため、ショベルローダーを操縦。降りようとステップに足をかけたところ、すべらせてしまい着地。着地の時点で激痛が左太腿裏に走った。</p>	42	1	229	10 ～ 29
47	2016	6	17～18	<p>採石場内の清掃作業後、石の上から降りる時、足が滑って怪我をした。</p>	63	2	523	10 ～ 29
48	2016	6	9～10	<p>場内産廃破碎機において、コンクリート殻のつまりを取り除くために、産廃破碎機の電源を切り、ローター部に足を掛けて作業をしていたところ、バランスを崩してバールの先端部分で左側顔面を打ち裂傷した。</p>	38	4	169	10 ～ 29



49	2016	6	9～ 10	プラント内で砂利選別機（トロメル）の金網交換作業中、古網を取り外し移動クレーン車で金網を地面に吊り降す時に、網がトロメルから取り出し易いよう補助をしていたその時、網がトロメルの枠に引っかかりはずそうと手を伸ばしたところ、不意に引っかかっていた網はずれて、その勢いで金網が上に振られた為、右手手袋が網に引っかかりそのままトロメルの枠と金網の間に右手がはさまり負傷した。	58	7	212	1 ～ 9
50	2016	6	14～ 15	現場にて、ヒューム管設置作業をしている時、右足をヒューム管の上、左足を斜面に掛けていたところ、誤って左足が滑り、その際、直径20～30cmの石と石の間につま先が挟まり左足親指を受傷した。	32	7	529	1 ～ 9
51	2016	5	15～ 16	採掘場内にある雑木を適当な長さに切る作業をしようと歩いていた時、足を滑らせ転倒した。その際、側にあった切株に左胸の横を強打した。	64	2	711	10 ～ 29
52	2016	5	8～9	碎石場の碎石プラント内に於いて、稼働前のコンベア点検中に、前日の雨のため足元が滑り転倒しかけ慌てて何かに掴まろうとした際、コンベア回転部分に右腕が挟まり巻き込まれて怪我をする。	34	7	224	10 ～ 29
53	2016	4	10～ 11	工場の切削屑置場付近の土場で石割作業中に折れた背板が倒れ、背板が足に落下し足を挟めてしまった。	46	4	523	1 ～ 9
54	2016	3	10～ 11	被災者は碎石場内プラント施設にて一次土砂ふるい網の交換作業をしていた。その際、外した網を両手で抱えて作業場所から地面に落とそうとしたところ、網が制服の袖口に引っ掛かり、網と一緒に地面に転落。頭及び右肩を地面に打ちつけ負傷した。	37	1	418	10 ～ 29
			9～	工場では、リサイクルプラントのインパクトクラッシャーを回しながら、グリスを入れていた時、ポンプがエアーをかみ出なくなった。作業の場所を外し、エアー抜きボタンを押せばよかったが、				30

55	2016	3	10	プーリーが回っているその場で左手を離してボタンを押す作業を行ったところ、ポンプの左側取手がプーリーの方へ流れ強く跳ね返り、右手の甲を強く打ちつけ、負傷した。	40	6	162	～ 49
56	2016	3	9～ 10	砕石プラント内のベルトコンベアーでヘッドプーリーとシュート の間に挟まった石をとるため、プライアーで鉄板を叩いた。その 際、右手小指が間に巻き込まれてしまい、負傷。	73	7	224	10 ～ 29
57	2016	3	15～ 16	全長18m程度のシクナーに油脂をさす作業をしている最中に、 誤ってレールの上に足を乗せたら、ローラーに足をまきこまれ受 傷した。	20	7	229	10 ～ 29
58	2016	2	8～9	プラント現場にて4tダンプに積んであるコンプレッサーにエア ホースを接続しようとして荷台にあがって作業を始めたところ前日の 雨で荷台が濡れておりすべって転倒し打撲を負った。	18	2	221	10 ～ 29
59	2016	1	15～ 16	大型ダンプカーの積荷落下防止シートの固定鋼材の変型修理の 為、荷台の中で取脱し、修理後の取付中、長さ5m、重さ30kgを 取付穴を合わせるのに前後左右ズラせていたら、バランスをくず し、右足安全靴鉄板部よりはずれて甲に打った。	72	4	521	30 ～ 49
60	2015	12	8～9	散水車にて砕石場内上部より採取場に向かって運搬路を下ってい た。その際、ブレーキが利かなくなり、運搬路脇の落下を防止す る安全土止めに乗り上げ、右側面に横転。車内にて右胸及び左膝 を打ち付け、負傷した。	43	3	221	10 ～ 29
61	2015	12	18～ 19	駐車場において、業務終了後、トラックに日報用紙を忘れたこと に気づき、トラックに戻り車内から日報用紙を取った時、ステッ プの踏みが浅かったため、足を滑らせ左足踵から落ちてしまっ た。	60	1	221	10 ～ 29
62	2015	10	8～9	砕石製造の為、1次クラッシャーで粉碎したコンクリートを2次ク ラッシャーへ2基のベルトコンベア（各20m）で移しているが、1 基目のベルトコンベアと2基目のベルトコンベアへ移し変える筒	60	7	224	1 ～

				状のシュートとベルトコンベアのローラーの間にコンクリート片が引っ掛かった為、鉄の棒で取り除こうとしたが、棒ごとローラーに巻き込まれ、右手親指を負傷した。				9
63	2015	10	11～ 12	破碎した石の上に重機をのせ、石の小割作業後、休憩のため重機から降り小割した石の上を歩いている時にバランスを崩し転倒した。	65	2	711	10 ～ 29
64	2015	10	11～ 12	製造一次ラインのジョークラッシャーにおいて歯板の交換作業、大口径ボルトの増し締めを行う際に大ハンマーと打撃スパナを使用した。しかし場所が狭くハンマーを大きく振るえないため、ハンマーの柄を短く持ち過ぎた。さらに打撃ポイントを打ち損ねたことにより、右手人差し指を骨折した。	24	6	364	10 ～ 29
65	2015	9	12～ 13	碎石場にて、油圧ショベル（コンボ）に業務し作業を行っていたが、昼の休憩を取るために重機から地面に降りようとしたところ着地の際、右足首をひねり損傷した。	38	3	416	1 ～ 9
66	2015	9	14～ 15	大型パワーショベルで作業道を走行中、土砂処分用の穴にパワーショベルごと転落。	58	1	142	1 ～ 9
67	2015	9	13～ 14	ダンプカー修理を終了し、作業で出たゴミを焼却しようと焼却場に運び焼却をしていた際、一部可燃物が有り勢いよく燃え上がった時、焼却炉に背中を向けていた為背中に飛び火し慌てて背中の火を消し、気が付くと顔、左手指先から肘にかけて熱傷を負った。	63	16	341	1 ～ 9
68	2015	9	9～ 10	砕砂製造プラントで清掃作業をしていた時、コンベアベルトに右手が巻きこまれ、負傷した。	38	7	224	30 ～ 49
69	2015	9	14～ 15	採石場においてプラント修理の為、ホッパーの鉄板の取り換え作業中、被災者は脚立を使用しホッパーの外側からナットを締める作業中、約4メートル下に転落した。	67	1	371	10 ～ 29

70	2015	9	14～ 15	坑内の点検の最中コンベアベルトの横に、30～40kgの原石が落ちていたので1人でコンベア上に戻そうと持ち上げたところ腰を痛めてしまった。	46	19	523	10 ～ 29
71	2015	8	9～ 10	重機から降りる際、右足の小指を痛めた。	56	3	417	10 ～ 29
72	2015	8	7～8	碎石場内で水中ポンプを上げるため同僚3人でしていてポンプにワイヤーをかけるためチェーンをつかって斜面を下る途中で、誤って転落し腰を負傷した。	44	1	711	1 ～ 9
73	2015	8	14～ 15	岩石採取現場で山の尾根付近で採取のための重機の通路を掘削機（油圧ショベル）で建設中、大雨で中止し戻ろうと旋回したところ、地盤が崩れ、山腹の法面50m転がり落下し、運転席での衝撃で被災。	53	1	142	1 ～ 9
74	2015	8	15～ 16	プラントにおいて、コーンクラッシャーの修理をする為にコーンクラッシャーの上に乗し、作業終了後1メートル位下の足場に降りる際、足を踏み外し、体が不安定な状態になりよろけて足場の隙間に足が挟まり、足首を捻ってしまい、足首を負傷した。	50	3	417	10 ～ 29
75	2015	8	9～ 10	破砕機で点検作業をしていたところポータブルコンベアのベルトのローラー部に腕を近づけすぎて、ローラー下部につなぎ（右腕）を巻き込まれてしまった。	25	7	224	10 ～ 29
76	2015	8	9～ 10	エコボックス（汚水分離ボックス）入替えを2名で作業中、ボックスを4点玉掛けしてバックホーで吊り上げたところ、傾いて持ち上がったため、一度元に戻して修正しようとしたが、隣接するクイックボックス（薬品添加ボックス）歩廊に寄りかかり、ボックスが斜めの状態になってしまい、その状態で片側2点をレバールックを使用し玉掛けを修正していたときに、ボックスがすべり歩廊上の作業員の両足先端がボックス上部縁と歩廊の間に挟ま	38	6	212	30 ～ 49

				り罹災した。				
77	2015	8	7~8	砕石プラントにて、始業前点検を行い、2日前にローラー交換を行っていたポータブルベルトコンベアの調整作業中、ドラムに付着した泥の除去が必要となり、持っていたハンマーをベルトの間(20cm)に差し入れ手前側を除去後、奥側の泥を除去中にハンマーが巻き込まれたので手を離そうとしたが、間に合わず巻き込まれたが自力で引き抜いた際、右手を骨折した。	57	7	121	1 ~ 9
78	2015	7	9~ 10	砕石プラントでテンションローラの土砂を取り除く作業中にスクレーパーがローラーに巻き込まれ、それを取ろうとして手を巻き込まれた。	54	7	224	30 ~ 49
79	2015	6	10~ 11	手作業でしかできない金属との選別を行っていた際に、足元にあったガラに足を取られて転倒しかけ手を付いたところに崩れたガラが落ちてきて負傷した。	53	4	711	10 ~ 29
80	2015	6	12~ 13	原石車を降り後部を確認したところ、被災者は左後輪に巻き込まれるようにひかれて倒れていた。	60	7	221	30 ~ 49
81	2015	3	8~9	砕石工場内のダンプトラック駐車場においてダンプトラック運転の為昇降ステップを利用し運転室に昇る途中、約2mの位置で誤って足をすべらし地面に落下し足のかかとを負傷した。	52	1	221	10 ~ 29
82	2015	2	10~ 11	製砂プラントのロッドミル粉碎設備においてガイドタイヤの交換作業中に、高さ1.5mの架台のアングルに乗り上がり、左手に持ったシノ付ラチェットレンチでタイヤの取付ボルトを締めていたところ、手を滑らせバランスを崩して転落し、第12胸椎を圧迫骨折した。	47	1	162	30 ~ 49
83	2015	2	8~9	砕石場で始業前点検作業をしている時にコンベア先端でグリスアップ完了後次の点検作業位置に移る行動において、コンベアそばの足場におりる事をしないでコンベア上を歩いてくださる途中コンベア表面が凍結していた為、足を滑らしコンベア(約高さ	54	1	224	1 ~ 9

				2.2m) より頭から転落し、体を動かす事が出来なくなった。				
84	2015	2	15～ 16	3次ダストコンベアのテーブルドラムにおいてテーブルドラムに付着したダストをスコップで取除く作業をして、作業中誤ってスコップの先端がテーブルドラムに巻き込まれ、スコップを持ったまま、手がねじれた状態でテーブルドラムの回転方向に引っ張られ右手を負傷した。	30	7	224	10 ～ 29
85	2014	12	10～ 11	工事現場に生コンの搬入を終え、ミキサー車のホッパーを洗う為後方の階段を上っていた際、手を滑らせ地面に落下、腰椎を骨折した。	70	1	221	10 ～ 29
86	2014	12	11～ 12	砕石プラントのコンベアー横に設置してある5mの通路にて、上部にあるコンベアスカート内の清掃作業中、雨天の中狭隘な通路での作業であった。また、安全装置（高所作業用ロープ等）を未着用のままでの清掃作業にあたり、高さ5mのコンベアー通路からストックヤード内に転落したものとする。	74	1	417	10 ～ 29
87	2014	12	13～ 14	電気絶縁不良の修理作業を開始、午前中にNO. 125-2BCの絶縁不良を修理し13時から二次選別プラントにあるNO. 2振動篩の絶縁不良を修理し、リ災者が配電盤に絶縁を測定しに行ったところ床を踏み抜き7.5m下の歩廊に墜落した。	20	1	419	30 ～ 49
88	2014	12	10～ 11	車庫の屋根をかさ上げの為、屋根を持ち上げまず四隅を固定する為、クランプの締め付けを行っていた。被災者は手前角の締め付けが終わり、随時締め付けを行う為に入口側へ移動しようとして既存の壁（幅15cm）の上を歩いて移動中連続的に降っていた雪に濡れたのと単管パイプに乗っていたので足を滑らせてバランスを崩し約2.8m下へ転落、負傷した。	59	1	719	10 ～ 29
89	2014	11	8～9	バックホーで走行中、後方走路が崩落したため、バックホーが転倒し車内で背中を打撲した。	56	1	142	1 ～ 9



98	2014	9	8～9	採取場にて作業に従事中、転倒した際にバックホーのバケットに腕が当たり受傷した。	35	2	416	1 ～ 9
99	2014	8	15～ 16	砕石中継ベルトコンベアスカートを修理するため、コンベア脇まで移動しようとして足場の手摺を乗り越えたところで足を滑らせ、堆積してあった砕石の上に落下し、右わき腹を強打した。	52	1	411	10 ～ 29
100	2014	8	11～ 12	砕石作業をしていた時、異音がしたので点検したら1次クラッシャーのジョープレートを止めているボルトナットが緩んでいた。ナット（65mm）を締めるのに叩きメガネを大ハンマーで叩いていた時、本体とハンマーの柄に挟まれ、右手人差し指を骨折した。	63	7	364	1 ～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。